



TITLE:

表紙・投稿規定・目次・ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・目次・ほか. 財政と公共政策 2011, 49

ISSUE DATE:

2011-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/154992>

RIGHT:

財政と公共政策

第33巻第1号(通巻第49号) 2011年5月
ISSN 1348-8805

Public Finance and Public Policy

財政学研究会

『財政と公共政策』投稿規定

本誌は、財政と公共政策に関する幅広い領域の理論的・実証的研究の成果を公表し、相互交流を促すことによって財政学研究、および公共政策研究の更なる深化・発展に寄与していくことを目指しています。本誌の発行は財政学研究会を母体としていますが、上述の目的のために会員だけでなく広く非会員の方々からの本誌への投稿も歓迎します。

本誌への投稿論文は、財政学研究会内に設けられた『財政と公共政策』編集委員会によって受理され、編集委員会の選任した複数の査読者による審査の上、掲載を許可されたものが掲載されます。なお、投稿を希望される方は、以下の投稿規定に留意されるようお願い申し上げます。

投 稿 規 程

[本誌の扱う内容]

財政学（予算論、経費論、租税論、公債論、地方財政論、国際財政論、財政政策論、財政思想、財政史等）、国家・自治体論、地方自治論、ガバナンス論、規制緩和、民営化、公益事業論、公共政策論（環境政策、交通政策、国土政策、都市政策…）等関連領域。

[投稿論文の受理]

投稿論文は随時受け付けています。到着した原稿から順次査読に入り、査読終了後に掲載が決定したもののから順番に、年2回発行（5月、10月）される本誌に掲載していくことにします。なお、投稿された論文は返却されません。

[投稿論文の種別]

投稿論文には、研究論文（制限字数25,000字）、研究ノート（同15,000字）、展望論文（同20,000字）の区別があります。ただし、制限字数は全て図表込みの数字です。図表を用いる場合は1点を800字と計算し、5点までを上字数に含めることができます。また、総字数が上記の制限字数を超える場合、文章については1ページ（約1,700字）につき3000円、図表については1点につきその作成費用相当額だけ、投稿料が引き上げられますので、あらかじめご留意下さい。なお、抜き刷りにつきましてはご要望に添えかねますので、ご了承ください。

[投稿料]

財政学研究会会員は無料、非会員は有職者の方が1万円、大学院生の方は5千円となります。

[論文提出要領]

投稿を希望される方は、テキストファイル、Microsoft Word、一太郎いずれかによる文書ファイルを下記の投稿論文送付先に提出して下さい。なお、上記の文書ファイルではなくハードコピーにて投稿を希望される方は本研究会までお問い合わせ下さい。また、掲載が決定した場合には、テキストファイル、Microsoft Word、一太郎のいずれかによる文書ファイルを提出して頂くことになりますので、あらかじめご留意下さい。図表をファイルとして提出する場合には、上記ワープロソフトで作成できるもの以外には、Microsoft Excel、Lotus1-2-3によって作成されたものおよびCSV（カンマ区切りテキスト）ファイルに限り、受領することが可能です。それ以外のものは、鮮明な印刷原稿、またはコピーをご用意下さい。なお、投稿論文には以下の内容を記載した表紙を添付して下さい。①論文タイトル②投稿者の氏名③連絡先（住所、電話・FAX番号、Eメールアドレス）④英文タイトル⑤英文氏名⑥内容要約（日本語、約200字）。

[投稿論文送付先]

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院経済学研究科財政学（植田）研究室内

Tel：075-753-3439

Fax：075-753-3512

目

次

特 集

財政学研究会 2010年冬季シンポジウム「政治主導と公共政策」

冒頭挨拶……………植 田 和 弘 …… 2

基調講演「政治主導はなぜ難しいのか：

政権交代と統治構造改革」……………飯 尾 潤 …… 3

コメント1「政策づくりへの市民参加」……………坪 郷 實 ……24

コメント2「政治主導はなぜ難しいのか」……………一方井 誠 治 ……30

コメント3「政治主導と公共政策をめぐる

—政権交代後の幾つかの政策動向に触れて—」……………寺 西 俊 一 ……36

総合討論……………41

特 集

ミネルヴァ環境ガバナンス叢書書評論文集（中）……………67

新澤秀則編著『温暖化防止のガバナンス』ミネルヴァ書房, 2010年

気候変動のグローバル・ガバナンス論：規範的空間と調整コスト

……………山 田 高 敬 ……68

書 評

植田和弘・山川肇編『拡大生産者責任の環境経済学

—循環型社会形成にむけて—』昭和堂, 2010年……………吉 田 文 和 ……83

諸富徹・山岸尚之編『脱炭素社会とポリシーミックス—排出量取引制度と

それを補完する政策手段の提案—』日本評論社, 2010年

……………高 尾 克 樹 ……86

植田和弘・新岡智編『国際財政論』有斐閣, 2010年……………鶴 田 廣 巳 ……89

学会動向

環境経済・政策学会 2010年度大会……………佐々木 健 吾 ……93

日本財政学会第67回大会……………伊 集 守 直 ……96

特集

財政学研究会 2010 年冬季シンポジウム

「政治主導と公共政策」

本特集は、2010 年 12 月 19 日に京都大学にて開催された「政治主導と公共政策」と題するシンポジウムの記録である。

このシンポジウムでは、基調講演として政策研究大学院大学の飯尾潤先生をお招きし、ご講演をいただいた。2009 年秋、政権交代がなされ、その後の政治主導による公共政策が期待される一方で困難がみられているなか、「政治主導はなぜ難しいのか：政権交代と統治構造改革」について飯尾先生の御持論が示された。

これに対し、パネリストとして、坪郷實先生（早稲田大学）は、「政策づくりへの市民参加」について、一方井誠治先生（京都大学）は、「政治主導はなぜ難しいのか」、さらに寺西俊一先生（一橋大学）は、「政治主導と公共政策をめぐって－政権交代後の幾つかの政策動向に触れて－」というテーマからそれぞれコメントが寄せられた。

当日は、多数の財政学研究会会員や関係者等、多数の方々にご参加いただき活発な議論が展開された。

『財政と公共政策』編集委員会



特 集

ミネルヴァ環境ガバナンス叢書 書評論文集（中）

2009 年から、ミネルヴァ書房よりミネルヴァ環境ガバナンス叢書が刊行されている。これら全 8 巻の各々について順次、書評論文を掲載している。本特集は、「ミネルヴァ環境ガバナンス叢書書評論文集（中）」と題して、その中から第 6 巻『温暖化防止のガバナンス』を取り上げる。評者は、山田高敬先生（首都大学東京）をお願いし、大変興味深い論考をご寄稿いただいた。

『財政と公共政策』編集委員会

●執筆者

植 田 和 弘 (京都大学)
飯 尾 潤 (政策研究大学院大学)
坪 郷 實 (早稲田大学)
一方井 誠 治 (京都大学)
寺 西 俊 一 (一橋大学)

山 田 高 敬 (首都大学東京)

吉 田 文 和 (北海道大学)
高 尾 克 樹 (立命館大学)
鶴 田 廣 巳 (関西大学)

佐々木 健 吾 (名古屋学院大学)
伊 集 守 直 (横浜国立大学)

財政と公共政策 第33巻第1号 (通巻第49号)
2011年5月26日 発行
編集・発行 財政学研究会
編集代表 池上 惇
事務局長 植田和弘
編集委員 内山昭 北村裕明 阪本崇 佐々木雅幸 重森暁
只友景士 鶴田廣巳 森晶寿 諸富徹
事務局 〒606-8501
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院経済学研究科財政学(植田)研究室(内)
TEL. 075-753-3439
FAX. 075-753-3512
印刷 (株)田中プリント

Public Finance and Public Policy

Vol. 33, No.1 5-2011

Contents

Special Symposium

Kazuhiro Ueta	Opening Remarks
Jun Iio	Political leadership and public policy
Minoru Tsubogo	Comments
Seiji Ikkatai	Comments
Shunichi Teranishi	Comments
Discussion	

Review Essays	Minerva Environmental Governance Series
Takahiro Yamada	Governance for Climate Change Policy

Book Review

Fumikazu Yoshida	Environmental economics of extended producer responsibility
Katsuki Takao	Prolapse carbon society and policy mix
Hiroimi Tsuruta	International public finance

Research Trends

Kengo Sasaki	The 2010th Congress of Society of Environmental Economics and Policy Studies
Morinao Iju	The 67th Congress of Japan Institute of Public Finance

Edited by Society for the Studies in Public Finance(Kyoto,Japan)